

宮城県表彰 功勞者表彰

長年の功績をたたえ表彰

宮城県表彰条例に基づく功勞者表彰式が11月1日(木)、東京エレクトロンホール宮城で行われ、5氏が表彰されました。



保健衛生功勞

本田 剛彦氏

昭和43年以来、44年余の長期にわたり勤務医並びに開業医として地域住民の医療活動を積極的に推進するとともに、健康増進や疾病予防、また学校医として児童の健康管理等に意欲的に取り組み、地域医療の発展に寄与されました。



保健衛生功勞

笹原 政美氏

昭和54年から公立志津川病院に勤務され、平成17年には開業医として地域住民の医療活動を積極的に推進するとともに、健康増進や疾病予防、学校医として児童の健康管理等に意欲的に取り組み、地域医療の発展に寄与されました。

秋の叙勲

平成24年秋の叙勲の受章者が発表になり、元宮城県議会議員の高橋長偉さんが旭日小綬章を、元南三陸町歌津消防団副団長の及川秀雄さんが瑞宝単光章を受章されました。

旭日小綬章

[地方自治功勞]



高橋 長偉氏
(志十日町)

平成3年4月、宮城県議会議員に初当選以来、5期20年の長期にわたり在職され、県政の発展と地元本吉地域の産業振興、福祉の向上、地域振興に尽力されました。この間、平成19年5月から平成21年7月までは、宮城県議会議員として在任し、行財政改革や地方分権、地方自治の振興発展に貢献されました。

瑞宝単光章

[消防功勞]



及川 秀雄氏
(歌田の頭)

昭和41年に歌津町消防団に入団し、以来46年間にわたり、終始一貫して消防業務に精励されてきました。平成18年からは南三陸町歌津消防団副団長を務め、消防団の指導者として積極的に活躍、消防団の組織統合にも尽力し、平成19年4月の南三陸町消防団の発足へと導くなど、地域の消防力強化と災害防除に寄与されました。

高齢者叙勲

歌津町議会議員として地方自治に貢献された加藤誠さんが、88歳の米寿を迎えられたことを期に瑞宝単光章を受章されました。

旭日単光章

[地方自治功勞]



加藤 誠氏
(歌名足)

昭和58年4月、歌津町議会議員に初当選以来、3期12年にわたり在職され、昭和62年5月から平成3年4月までと、平成7年4月から平成11年4月までの間、監査委員として在任されました。町財政の健全化の維持並びに効率的な行財政運営の推進に努められ、福祉の向上と教育の充実、地方自治の振興発展に貢献されました。



消防防災功勞

吉田 壯六氏
(志北の又)

昭和48年に志津川町消防団に入団以来、約39年の長期にわたり消防団の中核として活躍されました。平成21年からは南三陸町消防団副団長を務めるなど、町の消防力の強化と災害防除に寄与されています。



消防防災功勞

今野 昭雄氏
(志水戸辺)

昭和46年に志津川町消防団に入団以来、約41年の長期にわたり消防団の中核として活躍されました。平成10年からは分団長を務めるなど、町の消防力の強化と災害防除に寄与されています。



交通安全功勞

菅原 塚夫氏
(志本浜町)

多年にわたり、交通安全協会役員として交通安全思想の普及に積極的に取り組み、平成19年5月からは交通安全協会会長を務めるなど、交通事故の防止に努められ、地域の交通安全行政に寄与されています。



大震災の記憶を語り継ぐため

11月11日(日)、大震災から1年8か月が過ぎたこの日、戸倉折立地区五十鈴神社において、東日本大震災記念碑の除幕が行われました。

津波の到達した地点に建てられたこの記念碑には「地震があったら、この地よりも高いところへ逃げること」と、未来の人々へのメッセージが避難当日の記録や被害状況とともに刻まれています。



たつがねこ 弘川ダム湖を「田東湖」と命名

平成24年11月1日(木)、10月に本体が完成した弘川ダムの試験湛水式とダム湖の命名式が開催されました。ダム湖の名称については、田東の名を冠した「田東湖」と命名されました。多数の応募の中から、地元選定委員会が当地域のダム湖の名称にふさわしいものとして選定したものです。試験湛水については、完成した本体最下部のゲートを閉じて試験的に水をため、安全性の確認などをチェックするもので、この検査をクリアすればよいよ本格的な貯水が始まります。